

各位

会社名 **株式会社 CAC Holdings**
代表者名 代表取締役社長 酒 匂 明 彦
(証券コード 4725 東証 1 部)
問合せ先 経営管理部長 吉 田 昌 亮
(電話 03-6667-8010)

**特別損失の計上、平成 27 年 12 月期連結業績予想と実績値との差異
ならびに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は平成 27 年 12 月期(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)において、下記のとおり特別損失を計上することとしましたのでお知らせいたします。また、平成 27 年 5 月 14 日に公表した平成 27 年 12 月期連結業績予想と実績値との差異、および平成 27 年 12 月期個別業績の前期実績値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 連結業績

平成 28 年 2 月 9 日に「海外連結子会社における業績に関わる発表のお知らせ」で公表したとおり、当社の海外連結子会社である Accel Frontline Limited(本社:インド国チェンナイ市、ボンベイ証券取引所およびナショナル証券取引所上場、以下、AFL)は、Deloitte Touche Tohmatsu India LLP を独立監査人として、2013 年 3 月期から 2015 年 3 月期にわたる 3 年間の売掛金に関する調査を実施しています。

この調査は、当社からの会計処理の厳格化要請に基づき行われているものです。中間報告により、貸倒引当金計上が妥当な売掛金等の金額が示されましたが、発生原因等の調査は現在も継続中です。この調査結果については、判明後に別途開示を行う予定です。

当社においては、上記の売掛金等について分析・把握を行い、貸倒引当金等の関係会社事業損失 7 億 36 百万円を平成 27 年 12 月期の連結業績にて計上することとしました。あわせて、当社個別業績での関係会社株式評価損計上に伴い、のれんの減損損失 6 億 53 百万円を計上することとし、これらの合計 13 億 90 百万円を平成 27 年 12 月期に特別損失として計上いたします。

(2) 個別業績

AFL の経営成績および財政状態等を勘案した結果、当社個別業績にて関係会社株式評価損として 12 億 54 百万円の特別損失を計上いたします。

2. 平成 27 年 12 月期連結業績予想と実績値との差異

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 53,000	百万円 2,500	百万円 2,300	百万円 1,700	円 銭 86.04
当期実績(B)	52,105	1,209	1,080	△142	△7.22
増減額(B-A)	△894	△1,290	△1,219	△1,842	
増減率(%)	△1.7	△51.6	△53.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 12 月期)	50,031	3,191	3,000	2,343	117.70

【差異の理由】

売上高は前回発表予想に比べて微減であるものの、海外連結子会社であるAFLでの貸倒引当金などのコスト増加と、医薬品開発支援サービスにおけるプロジェクト開始の遅れに伴う要員不稼働により、営業利益および経常利益は、前回発表予想を下回りました。

また、当期純利益は、上記に加えて「1. 特別損失の計上 (1)連結業績」に記載の特別損失を計上するため、前回発表予想を下回りました。

3. 平成 27 年 12 月期個別業績(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)の前期実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成 26 年 12 月期)	百万円 6,355	百万円 171	百万円 1,024	百万円 1,597	円 銭 80.23
当期実績(B) (平成 27 年 12 月期)	1,022	31	310	△310	△15.69
増減額(B-A)	△5,333	△139	△713	△1,907	
増減率(%)	△83.9	△81.6	△69.7	—	

【差異の理由】

当社は、平成 26 年 4 月 1 日付けで持株会社へ移行しています。売上高、営業利益、経常利益について差異が生じた要因は、平成 26 年 12 月期は、持株会社に移行するまで(平成 26 年 1 月 1 日～3 月 31 日)のシステム構築サービス、システム運用管理サービス、BPO/BTO サービスの業績が計上されていることによるものです。

当期純利益は、上記に加え、「1. 特別損失の計上 (2)個別業績」に記載の特別損失を計上することとなったため、差異が生じました。

4. 配当予想

当期の期末配当金は 1 株あたり 16 円を予定しており、前回発表予想からの変更はありません。

以 上